

12. 胆道がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
							体外照射	小線源治療		治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 外科・消化器外科	8	2	○	○	×	×	胆道がんは胆嚢がんと胆管がんに分けることができ、胆管がんはさらに肝内胆管がんと肝外胆管がんに分けられます。このうち一般に胆管がんといえば肝外胆管がんのことをさし肝内胆管がんは肝臓がんとして扱われます。胆嚢がんでは単純胆嚢摘出または拡大胆嚢摘出術が行われますが、胆管がんには定型術式といったものはなく、がんの拡がりに応じたできるだけ根治的な術式が選択されます。肝門部胆管と上部胆管にできたがんを切除するには、かなり限局している場合を除いて肝臓の切除を追加します。下部胆管がんは膵臓に近接しているため膵臓の一部を合併切除します。また、がんの浸潤範囲が肝門部胆管から下部胆管まで拡がっていると肝臓、膵臓を同時に切除しなくてはなりません。このような手術はまだ安全に施行できるとはいえない状況なので治療法の選択が難しくなります。	ア 外科・消化器外科  <a href="http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/geka/index.html">http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/geka/index.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2 消化器内科	5	5	×	○	×	×	胆道癌治療ガイドラインに準じて治療方針を決定しています。	ア 消化器内科  <a href="http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/syokakinaika/index.html">http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/syokakinaika/index.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり	
3 放射線科	4	1	×	×	○	×		ア 放射線科  <a href="http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/housyasenka/index.html">http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/housyasenka/index.html</a>				
4								ア http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
5								ア http://				
								イ http://				

例:胆管がん、胆嚢がん 胆管がん 昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	
---	--